

秋 歯 技

発行
No.76
2026年3月1日

一般社団法人
秋 田 県
歯 科 工 士 会
広 報 部



明けましておめでとうございます 2026

写真撮影の場所は由利原高原です。早朝、無風の時間帯に撮りました。鏡のように反射して逆さ鳥海山となりました。

(真坂 嘉徳)

年頭のごあいさつ

会長 今野 悟



2026年も早いもので3月に入ってしまったいました。会員の皆様

には健やかに過ごしのことと拝察いたします。日頃は会の運営にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、本会創立70周年の節目の年でした。記念講演・表彰式・祝賀会には森野日技会長はじめ歯科医師会・歯科衛生士会・県行政・東北5県技、またたくさんの会員のみなさんにご臨席賜り、盛会に執り行うことができました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

「医療施設物価高騰対策支援金給付」の申請書類が自営者の方々に送られてきたことと存じます。この給付金は2023年から厚生労働省の医療機関への物価対策として実施されました。が、当初秋田県では、対象となる医療機関から歯科技工所は外されておりました。(厚労省の見解でも各自治体に一任だったため、都道府県により対応が異なっております。)そこで、2024年、県庁医務薬事課に出向き、歯科技工所が対象となっている県もある旨を説明し、「他県の状況を調べてみる」という回答を得た結果、今回の給付につながりました。

また今年6月の保険点数改定においては、「歯科技工所ベースアップ支援助料」が新設されます。もちろんこれは取引先の歯科医院からいただくのですが、一装置につき15点(150円)が技工料金に加算されます。

厚労省の給付金も保険点数改定もわずかな金額ではありますが、我々としては大きな一歩ではないかと感じております。

さて、今年も午年です。私の座右の銘に「人間万事塞翁が馬」ということわざがあります。不

幸に思える出来事が後に幸運につながることも、またその逆もあります。すべてが幸運につながる信じ、目の前に起きたことに一喜一憂することなく現実を肯定し、充実した一年にしていきたいものです。最後にになりましたが、皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

広報の発行が遅くなってしまいました。申し訳ございません。



新年会の集合写真

一般社団法人秋田県歯科技工士会創立70周年記念行事

期 日 令和7年10月18日(土)
会 場 ANAクラウンプラザホテル秋田

Zoomにてオンライン)

記念講演

講師 高山幸宏先生(広島県歯科技工士会) リモート講演

時間 16:00~17:30

講 師 高山幸宏先生(広島県歯科技工士会) リモート講演



テーマ

「歯科技工士に求められる災害歯科の基礎知識と体制づくり」―災害時用即時義歯マニユアル策定と全国調査から見た現状と課題―

今回、秋田県歯科技工士会創立70周年記念講演で、広島から高山幸宏先生にオンラインで講演していただきました。歯科技工士に求められる災害歯科の基礎知識と体制づくりというテーマで講演していただき、災害歯科についてあらた



めて歯科技工の役割や災害現場で求められる知識や対応などを知る非常に良い機会になりました。特に災害時には、知っている人より通じ合える人の重要性を強く感じました。

災害時用即時義歯製作も非常に勉強になりました。

義歯製作マニユアルに関しては、全国統一よりも地域特性を踏まえた柔軟なマニユアル化が実際の災害現場で真に機能する支援体制を生むという事でした。

(斎藤 健司)



祝賀会

(兼 東北ブロック会議懇親会)

時間 18:00 ~

【式次第】

- ・開会の辞 副会長 酒井 栄
- ・秋田県会長挨拶 今野 悟
- ・東北ブロック長挨拶 長内 隆 様

【祝 辞】

- ・公益社団法人日本歯科技工士会 会長 森野 隆 様
- ・秋田県健康福祉部健康づくり 推進課主任 田代 真康 様
- ・一般社団法人秋田県歯科医師会 副会長 畠山 桂郎 様
- ・一般社団法人秋田県歯科衛生士 会 副会長 長山 障子 様

【表彰式】

- ・日技会長感謝状・佐藤 雄貴 氏
- ・県会長表彰・齋藤 伸夫 氏、今 野 恵豊 氏

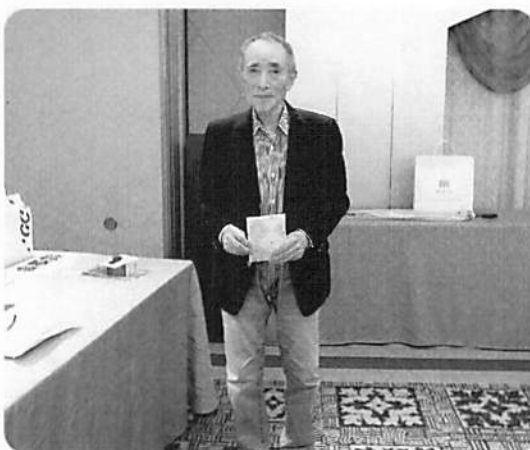
多くの来賓・会員の皆さまにご臨席いただき盛会でした。会場では歴代会長の写真や昨年度の東北ブロック周年大会の模様をスライドショーや動画で流しました。若手会員にとっては名前も顔も知らない歴代会長の写真に触れられた



ことは会の歴史を知るうえで良かったのではないかと思います。余興の抽選会も景品が「Nintendo Switch 2」「曲げわっ



ぱ「米」「きりたんぼセット」など豪華で獲得者が出る度、大変盛り上がりました。楽しみながらも、70年の歩みを



振り返るとともに、今後の歯科技工士のさらなる発展を誓い合う祝宴となりました。

(佐藤 仁)

第66回東北ブロック歯科技工士協議会・秋田会議

日時 令和7年10月18日(土)

13:30

会場 アルバートホテル秋田

議事

- ①令和6年度ブロック会計報告・承認
 - ②各県技より提出議題の協議
 - ③日技の今後の展望と活動報告
- 日本歯科技工士会 会長 森野 隆

提出議題

青森県技

- ①活動内容の分かりやすく詳しい広報が欲しい。一般会員にとっても、活動内容、会議の内容など具体的に知らせてほしい。
- ②ブロック長の交代をそろそろ考えてほしい。
- ③東北ブロックから日技理事を推薦したい。
- ④《提案》生涯研修をZoom研修も出来るようにして下されば、参加による単位認定など有利だと思う。

岩手県技 なし

山形県技

- ①県技として若手会員に対して「バックアップ出来ることとは何か」。



宮城県技

- ①前回の周年大会で決まった、「製作技工に関わる費用」に関する検討委員会の各県サポーター委員の選定状況の報告。

福島県技

- ①歯科技工士が製作した補綴物は、基本的に雑貨として扱われるのが現状ではあるが、オーダーメイドによる人工臓器(医療器具)として取り扱われるよう目指すべきではないか。
 - ②歯科技工士の身分が、あくまで医療関係者として医療の一部を担う一つの職業という認識があり、必ずしも医療従事者と確立されていない。福島県技の議題に対して森野会長の答弁
- ・雑貨ではない

秋田県技 なし

(佐藤 仁)

若手会員交流会

場所 アルバートホテル秋田
時間 13:30~15:00

これまで東北ブロック各県の会長はじめ三役による会議が中心であり、組織の指針を決定したり意見交換の場として開催されてきました。



毎年議題を考
える中で、次世
代を担う若手歯
科技工士達が直
接意見を交わ
せる機会を設け
てはどうか?と
秋田県から提
案。
こうした背景
の中、若手歯
科技工士交
流会が初開催
されました。
(若手の

定義は各県に一任)

東北に同じ想いの仲間がいると確認でき、次に繋がる「場」となりました。

(佐藤 仁美)



今回、秋田県で開催された東北ブロック会議に参加し、その一環として行われた若手技工士交流会は、非常に意義深い時間となった。各県から2、3名の若手技工士が集まり、若手技工士不足という共通の課題や、技工士会への勧誘方法、ボランティア活動を通じた歯科技工士会の周知について意見交換が行われた。県ごとに置かれている状況は異なるものの、それぞれが工夫と努力を重ねながら課題解決に取り組んでいる様子が伝わり、多くの刺激を受けた。また、デジタルツールを活用した連絡方法や情報共有の事例は、今後の活動を円滑に進めるうえで非常に参考になった。交流を通して、同世代だからこそ率直に話し合える関係性が生まれ、地域を越えた繋がり大切さを実感した。今後はこの若手技工士同士の繋がりをさらに広げ、互いに高め合いながら、歯科技工士会や業界全体の活性化に繋げていきたいと強く感じた。

(田口 勇樹)

日本歯科技工士会創立70周年地域交流記念大会

日時 令和7年9月27日 (土)

会場 横浜ベイホテル東急

内容 ①市民公開講座
②記念式典
③授与式
④記念祝賀会

参加者

今野会長
受賞者(佐藤仁氏、細田武彦氏)

受賞者より

〔厚生労働大臣表彰〕

佐藤 仁

このたび、日本歯科技工士会創立70周年という節目の年に、厚生労働大臣表彰を拝受するという大きな榮譽にあずかり、身に余る光栄とともに、これまで支えてくださった多くのの方々への深い感謝の思いで胸がいっぱいです。

本表彰は個人の力によるものではなく、日々共に努力を重ねる同僚や先輩方、そして歯科医療の現場で技工物を必要としてくださる患者様の存在によって初めていただけるものだと感じております。

近年、歯科技工の分野はデジタル技術の進展や材料の高

度化により、かつてないスピードで変革が進んでいます。

その一方で、手仕事によって培われた繊細な感性や精度は今後も変わらず歯科技工士の価値を支える基盤であり続けるでしょう。

これからの技工士会には、伝統を守りつつ革新を取り入れ、若い世代が誇りと希望を持って働ける環境づくりが求められています。

私自身も、今回の受賞を励みに、技術の研鑽と後進の育成により一層尽力し、歯科技工の未来がより豊かで力強いものとなるよう微力ながら努めてまいりたいと考えています。

〔日技会長表彰〕

細田 武彦

日本歯科技工士会創立70周年地域交流記念大会にて、日技会長表彰を受賞することとなり、参加してまいりました。会場のホテルがわかりづらく迷ってしまいました。授与式と会食及び他の受賞者の方々との懇談等、貴重な経験をさせていただきました。

高校を卒業後に歯科技工に

関わり50年。技工士会には生涯研修会がきっかけで入会しました。歯科技工士として歩んできた年月を考え感慨もひとしおです。

ところで皆様方はデジタル対応していますか？

このたび近くで開催していた「日本デンタルショー」も見てきましたが、ほぼデジタルの展示でした。

かつての同期や同僚は現役がいなくなりましたが、私は技工士会に入っているの何と技術的についていけたかと思えます。

これからデジタルの世界にどんどん切り替わっていくでしょう。アナログ人間としては後何年歯科技工ができるかな？と思った行程でした。

今回の受賞を励みに、患者さんによりよい義歯を提供できるよう一層精進していききたいと思えます。



21世紀の医療を守る会

今年度から歯科医師会の勧めで「21世紀の医療を守る会」に入会しました。

この会は、秋田県医師会の関連団体で、活動内容は講演やシンポジウムを通じて地域医療の課題や将来について県民とともに考える機会を提供しています。

1月25日(日) 13時30分より、秋田県医師会館において総会が開かれました。

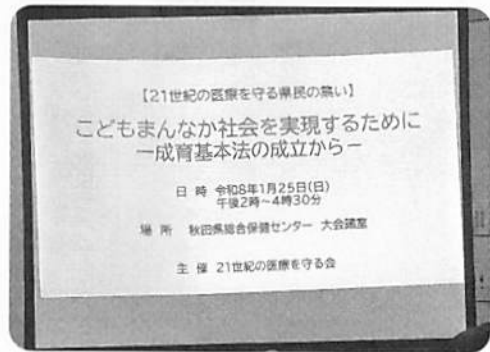
加盟団体は37団体で、出席13団体22名、委任状19団体、未回答5団体でした。

総会終了後、「こどもまんなか社会を実現するために」というテーマで6名のパネリ

ストによるシンポジウムが行われました。

歯科からは、なかいちこども歯科クリニックの氏家先生が「歯科医療から見える虐待(虐待を未然に防ぐには)」というタイトルで講演されました。他に「児童虐待相談の現状と対応」というタイトルで講演されたパネリストもいて、自分の中では虐待は縁遠いことと思っていたのですが、当たり前にあることに驚きました。

(今野 悟)



大森山動物園 歯科技工フェア

令和7年6月1日、大森山動物園にて、来園されたお子様の手型を印象し石膏模型にしてプレゼントするイベントを実施しました。今年も天候に恵まれ、手型採取に77名、歯科医師の歯科相談コーナーや歯科衛生士の口腔衛生指導に40名から50名が訪れて、大盛況でした。



16名の会員の皆様にご協力いただきました。誠にありがとうございました。みなさん手際が良く、長年実施してきた賜物だと感じました。この活動を通して、歯科技工士の認知向上やこどもにも楽しく歯の大切さを伝えられることが期待できると思います。



動物園は、昨年から本間弘生園長になりましたが、「今後ともよろしくお願いいたします。」とお言葉もいただきました。毎年大森山動物園の「ふれあいフェスティバル」開催日に実施しております。皆様、都合のつく時間帯のみでも結構ですので、是非ご参加ください。

献血ボランティアの報告

令和7年2月16日大曲イオンにて献血ボランティアを行い、技工士会からは8名参加しました。最近献血希望者が多いせいか、赤十字の目標人数が例年55人位のところ、今回は70人に増えていました。それでも15：30分位に目標人数を達成出来ました。毎年ゆるキャラに入ってくれる佐々木順也さんご苦労様でした。(佐々木 修)



支 部 だ よ り



【中央支部】

令和7年中央支部の活動報告です。まず初めに10月18日に東北ブロック協議会と県技70周年記念が秋田県で開催されたため支部から協力金を贈呈させていただきました。

6月1日大森山動物園で技工フェアが行われ支部からは7名参加、他支部と協力し手型取りなど行ってきました。8月2日納涼会は7名参加で牛玄亭を堪能してきました。

12月6日忘年会は6名と県南支部長参加で少人数でしたがノ貫（へちか）でお鍋などおいしくいただきました。

昨年は市街地や民家の庭先に熊出没という話題ばかりで、私事ですが趣味のキャンプやジョギングも遭遇する可能性もあり、怖くてなかなかできずにいた1年でした。今年は再開できることを祈りつつ、またマラソン大会ヘントリーできればと思います。

（高橋 和文）

【県南支部】

県南支部の昨年の事業は4月19日総会と8月2日役員会だけでした。

旅行も企画したのですが参加人数が少なく、9月14日に有志4人で青森に旅行に行ってきました。

今年は年祝い、会での旅行、納涼会等企画をたてて盛り上げていきたいと思えます。

それと総会に今野会長にお越し頂き有難う御座いました。今年度もお待ちしております。

（佐々木 修）

【県北支部】

県北支部は、小さい支部ながら会員同士のチームワークはとれており、何をすることも基本全員が参加します。

何をするとと言っても、ほぼ飲み会（笑）になります。

私個人としては、歯科技工の職を離れて5年になりますが、現在は鳥潟会館（国の名勝指定）の環境整備をしております。

これからも微力ながら技工士会に協

力していきたいと思っております。

（藤盛 正伸）

【由利本荘支部】

本荘由利支部は現状、支部単体での活動を行うには難しい状況が続いてはいますが、会員同士の繋がりは大切にしていきたいと思っています。

私個人としては、昨年は献血ボラン

（真坂 嘉徳）

年男の質問

今年年男の会員にアンケートに答えさせていただきました。

- 質問
- ① 2025年を振り返って
 - ② 今年はどんな年にしたいですか
 - ③ 今一番夢中になっていることは
 - ④ 日技・秋歯技に期待する事

佐々木虎雄さん



三十六歳のとき、多くの方々のご指導とご支援を賜り、歯科技工所を開業する事ができました。

振り返れば、決して平坦な道ではありません。試練の連続であつたように思います。それでも今日まで歩んで来られたのは、ひとえに支えて下さった諸先輩がた、仲間の皆様

ティア、大森山動物園での技工フェア、そして秋田県歯科技工士会創立70周年記念という大きな行事の際に、その様々な場面を記録として写真を収めることが出来て良かったと思います。今後も、会の活動を写真という形で残せるように頑張っていきたいと思えます。今年も本荘由利支部をよろしくお願ひいたします。

のお力添えがあったからこそであり、改めて深く感謝申し上げます。仕事に追われ、夜中まで作業に向き合う日々が続きましたが、その甲斐あつてか、子供達もそれぞれ独立し、生計を立てるようになりました。親としての責任を何とか果たす事が出来たのではないかと、今は少し肩の力を抜いております。近年では、年に4回も子供達家族が旅行に誘ってくれ、長年働いてきた事が報われた思いでいっぱいになります。

今年も年男となり、技工士会の中でも最高齢の仲間に入る年齢となりました。時の流れの早さを実感すると同時に、これまで無事に仕事を続けて来られた事への感謝気持ちが強まっています。

これから先、どこまで働いていけるかわかりませんが、今は何よりも健康を大切に、無理せず、長く関わっていかれたらと思っています。また、将来

ホームページ担当より

寒さの厳しい日が続いておりますが、会員の皆さまにおかれましては、日々の業務にお忙しくお過ごしのことと存じます。

本会報が発行される二月は、年度の締めくくりが近づき、これまでの活動を振り返る時期でもあります。

近年、私自身は会の行事や集まりに参加する機会が以前より少なくなりましたが、ホームページの更新は、研修会



や各種イベントのたびに継続して行ってきました。

直接参加できなくとも、会の活動を記録し、会員の皆さまにお伝える役割として、ホームページの更新を大切に考えています。

こうした更新を続けられている大きな理由の一つが、行事の際に写真を提供してくださっている真坂さんの存在です。

会の雰囲気や参加者の表情を的確に捉えた写真は、いつも非常に質が高く、ホームページの記事を支える大切な素材となっています。

真坂さんは地元紙への写真投稿もされており、実際にその作品が新聞に掲載されたこともあります。

そのような経験に裏打ちされた写真をお借りできていることは、会としても大変心強いことだと感じています。

文章だけでは伝えきれない現場の空気や活動の様子を、写真が補ってくれることで、ホームページを訪れた方にも、より身近に会の活動を感じていただけているのではないのでしょうか。

素材に恵まれていることに、改めて感謝したいと思います。

今後は、より多くの方にホームページを見ていただけるよう、情報の見せ方や更新の工夫も必要だと考えています。

その一つとして、すでに運用されて

を見据え、志を引き継いで下さる方がいればお願いしたいと考える日々でもあります。その際には、技工士会の皆様にもご相談をさせて頂きながら、良い形を模索出来れば幸いです。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

富樫 正行さん

①物価高や日本の将来への不安を感じつつも、あつという間に過ぎた一年でした。

②健康第一で、仕事も私生活もバランスよく頑張りたいです。

③コンプリートしたい(笑)

④厳しい環境の中、今後も会員の声を大切にした取り組みに期待と、役員・執行部の皆様に感謝しています。



佐々木秀行さん

①大きな出来事もなく、可もなく不可もなく、無事に一年を過ごすことが

いる公式LINEとの連携も活用しながら、ホームページへの導線を強化し、必要な情報が届きやすい形を模索していければと思います。

年度末を迎え、何かと慌ただしい時期ではありますが、体調管理には十分ご留意ください。

できました。

②やはり健康第一で、無理をせずマイペースに過ごせる一年にしたいと思います。

③釣りです。自然の中でのんびり過ごす時間が、良い気分転換になります。

④これからも会全体が明るく、活気のある雰囲気が続いていってほしいと思います。

菅野 雅人さん



①仕事そっこのけで(笑)、息子の高校野球の応援に全振りした一年でした。

②いつもの仕事以外にも、いろいろ動きがありそうなので、無理せず楽しみながらやっていたらと思います。

③息子(三男)の中学野球の応援です。(ラスト息子)

④次の世代の歯科技工士が育っていくきっかけづくりに期待しています。

来年度も、秋田県歯科技工士会の活動を記録し、発信する一助となれるよう努めてまいります。

今後とも皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(荒川 大祐)

選挙告示

任期満了に伴う令和8年度役員改選の時期を迎え、選挙規定第3条及び8条による選挙管理委員会の設置を1月17日開催の理事会において決定しましたので、ご連絡いたします。また、役員候補の推薦を選挙規定に基づきお願い申し上げます。

* 推薦候補者の締切日

令和8年4月17日(金)

* 選挙予定日

令和8年5月24日(日)

通常総会時

* 立候補届出先

県技事務局又は選挙管理委員
まで

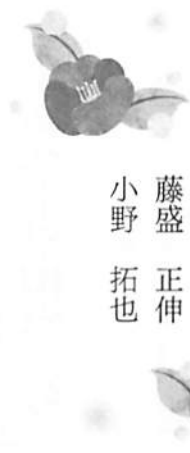
委員長

佐藤 仁

戸嶋 賢

藤盛 正伸

小野 拓也



会員動向

◇ 出産

・小松田 紗和さん【中央支部】
長女 葉さん
(令和7年8月9日) 誕生

◇ お悔やみ

・平塚 聡さん【中央支部】
令和6年6月死去されていまし
た。

※会員・会員の妻が出産された場合、日技からもお祝い金がいただけます。(一子につき2万円)
申請は事務局まで!
お忘れなく!!



事務局より

LINE 登録をお願いします



LINE ID
@788tvdyg

【登録方法】

1. QRコードを読み込んで、友だち登録をお願いします。(LINE ID からでも可能です)
2. 秋田県歯科技工士会公式アカウントより案内メッセージが届きます。支部とお名前をご返信ください。

以上で手続きは完了です。

登録後、研修会や各種活動の案内を送らせていただきます。

※総会資料と広報はこれまで通り郵送いたします。

※他の会員からはあなたのアカウントやメッセージは閲覧できないようになっていますので安心してご利用ください。

☆勤務者から自営者になられた方

☆自営者の方で廃業された方

☆現住所、勤務先などが変更になった方

→必ず事務局にご連絡ください。

(一社) 秋田県歯科技工士会 事務局

〒019-2411 大仙市協和境字境26番地

電話・FAX 018-892-2447

E-mail : akisigi@ceres.ocn.ne.jp

ホームページ : <https://akisigi.fem.jp/>

(HP担当: 県南支部 荒川大祐さん)

※ホームページに掲載してほしい情報がありましたら事務局へ連絡してください。

オンライン寺子屋 URL

<https://www.terakoya-rengo.com/akita>